



課題

品質向上を図り、無駄な廃棄口スをなくしたい

対策

書き写し作業をExcelに自動入力化して、ヒューマンエラーを防止

効果

品質が向上し、無駄な廃棄口スを撲滅

採用製品

SP5000シリーズ (オープンボックス)



背景と課題

品質向上を図り、無駄な廃棄ロスをなくしたい

化粧品の製造工場で生産管理をしています。

製造工程では、加工と検査を繰り返し、最終検査を経て製品として出荷しています。

しかし、何度も検査しているにも関わらず、最終検査で不良品になり廃棄ロスが減らないため、品質向上を図りたいです。



課題が達成できない問題

前工程のヒューマンエラーに最終検査まで気付かず、すべて廃棄

検査の作業者は、加工が終わったワークの検査を行い、表示器に表示している検査結果と有効期限を検査シートに書き写します。 その際に、書き写し間違いが多く、最終検査まで気付かれないまま工程が進むため、製品としては出荷できず廃棄するしかありません。 また、工程が複雑化しているため、工程飛びによる廃棄も多発しています。

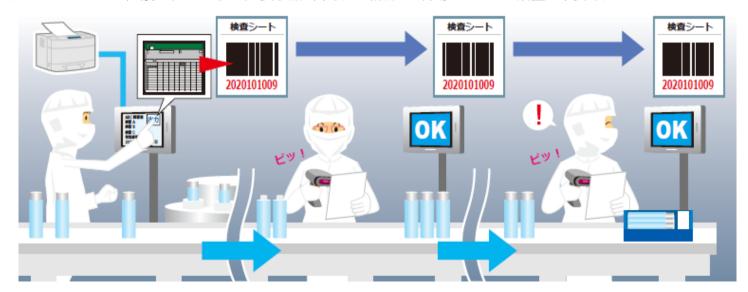


SP5000シリーズ (オープンボックス) で解決

書き写し作業を自動化!前工程のヒューマンエラーに気付き、廃棄口スを撲滅!

SP5000シリーズ(オープンボックス)は、Windowsアプリケーションを搭載。

表示器に表示している検査結果と有効期限をExcelに自動入力。入力した数値をバーコード生成し、検査シートとして出力できるので、書き写しが不要!次工程の作業者は検査シートのバーコードをスキャンして、工程飛びなど前工程の良否判定を確認してから作業するので、廃棄ロスを撲滅できます。 また、市販のプリンターとSP5000は直接つなげられるので、表示器1台ですべて解決!現場にパソコンの設置は不要です。



システム構成図

SP5000シリーズの詳細 Click



SP5000シリーズ (オープンボックス)

操作時は専用機として、設計・メンテナンス時は汎用機として活躍。 SP5000シリーズ オープンボックスのパフォーマンスがUP!

SP5000シリーズの詳細 Click



Windowsアプリケーションがより快適に!!

<データ収集>

FTPクライアント機能対応だからパソコンのフォルダーを保存先に設定可能!

くモニタリング>

カメラアプリやデータ収集ソフトを組み合わせて監視体制を強化可能!

くデバッグ>

ラダーツールや画像センサーアプリを使ってHMIでデバッグ作業を実現!

<トラブル・シューティング>

PDFや動画のマニュアルを使って誰でも簡単にトラブル対応可能!

<クラウド・コンピューティング>

HMIとクラウドを連携してIoT化を実現!

問い合わせ先

シュナイダーエレクトリックホールディングス株式会社

(旧:株式会社デジタル)

www.proface.co.jp

【 東 京 】 東京都港区芝浦2-15-6 オアーゼ芝浦MJビル

TEL: 03-5931-7651 FAX: 03-3451-3580

【 中 部 】 愛知県名古屋市東区泉1-21-27 泉ファーストスクエア7F

TEL: 052-961-3701 FAX: 052-961-3707

【西日本】 大阪市中央区北浜4-4-9 シュナイダーエレクトリック大阪ビルディング

TEL: 06-6208-3119 FAX: 06-6208-3132

[●]本誌に記載している会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

[●]写真の色等は印刷のため、実物と若干異なる場合があります。また画面においても、はめ込み合成のため実際の表示と異なる場合があります。●掲載した内容は、製品改良のため予告なく変更する場合がございます。